

平成28年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社  
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 宮下 泰知

TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	59,762	△1.9	2,674	3.5	2,921	△0.6	1,875	△6.8
27年3月期第3四半期	60,932	9.9	2,583	39.2	2,938	34.6	2,012	56.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,072百万円 (△65.3%) 27年3月期第3四半期 3,091百万円 (△1.9%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	91.88		91.68	
27年3月期第3四半期	99.55		99.47	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	84,850		48,510		55.2	
27年3月期	85,245		47,845		54.3	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 46,806百万円 27年3月期 46,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	83,000	1.5	3,750	26.6	4,000	16.6	2,400	7.9	117.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	20,531,600 株	27年3月期	20,301,100 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	12,521 株	27年3月期	12,281 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	20,413,375 株	27年3月期3Q	20,213,409 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国をはじめとする先進国経済が底堅い動きを見せた一方で、中国などの新興国経済の減速傾向が強まり、不安定な状態が続いております。国内経済は、踊り場にあり、輸出、生産は横ばい圏で推移し、個人消費には弱さが見られました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。

その結果、中国経済の減速などによる需要低迷や原油安の影響もあり、売上高は伸び悩みましたが、採算性の改善および経費削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は597億62百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は26億74百万円（同3.5%増）、経常利益は29億21百万円（同0.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億75百万円（同6.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### <製紙薬品事業>

国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、需要が低迷しました。また、中国の製紙業界は設備の過剰感もあり低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は前年を下回りましたが、アジア地域における拡販が寄与し、海外においては増収増益となりました。

その結果、売上高は149億77百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は9億60百万円（同13.2%増）となりました。

#### <化成品事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。一方、印刷インキ業界は出版・広告分野では低迷が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂については、海外で食品包装用の販売が増加したものの、粘着・接着剤用樹脂については、欧州での5年に一度の定期修理もあり、国内外とも販売が減少し、売上高は345億15百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は14億42百万円（同3.2%減）となりました。

#### <電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンが需要を牽引しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂等が回復傾向にあることに加え、山口精研工業株式会社の精密研磨剤が寄与し、売上高は100億32百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は大幅に改善し、1億82百万円（前年同期はセグメント損失76百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が6億14百万円、電子記録債権が4億40百万円、有形固定資産が3億38百万円、無形固定資産が4億76百万円増加した一方、現金及び預金が8億56百万円、たな卸資産が8億48百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億94百万円減少し、848億50百万円となりました。

負債は、短期・長期借入金が4億16百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が5億56百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億59百万円減少し、363億40百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億65百万円増加し、485億10百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月4日に公表しました業績予想に修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ89百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,228	7,372
受取手形及び売掛金	29,142	29,756
電子記録債権	507	947
有価証券	-	232
商品及び製品	8,440	7,703
仕掛品	1,070	1,213
原材料及び貯蔵品	7,476	7,222
繰延税金資産	549	319
その他	745	789
貸倒引当金	△142	△154
流動資産合計	56,018	55,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,793	7,841
機械装置及び運搬具(純額)	7,352	6,510
土地	4,797	5,203
建設仮勘定	553	1,198
その他(純額)	331	412
有形固定資産合計	20,827	21,166
無形固定資産		
のれん	71	597
その他	500	450
無形固定資産合計	571	1,047
投資その他の資産		
投資有価証券	7,125	6,512
繰延税金資産	187	185
その他	530	559
貸倒引当金	△14	△23
投資その他の資産合計	7,828	7,233
固定資産合計	29,227	29,447
資産合計	85,245	84,850

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,807	11,251
短期借入金	9,592	9,745
1年内償還予定の社債	-	5,000
未払法人税等	451	556
未払消費税等	243	209
繰延税金負債	70	66
賞与引当金	1,035	520
役員賞与引当金	46	38
修繕引当金	94	-
設備関係支払手形	134	123
その他	3,451	3,479
流動負債合計	26,926	30,991
固定負債		
社債	5,000	-
長期借入金	2,683	2,946
繰延税金負債	1,393	1,311
修繕引当金	-	25
退職給付に係る負債	813	555
資産除去債務	90	91
その他	493	419
固定負債合計	10,474	5,349
負債合計	37,400	36,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,192	3,291
資本剰余金	3,414	3,512
利益剰余金	34,298	35,586
自己株式	△11	△12
株主資本合計	40,893	42,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,572	2,237
為替換算調整勘定	2,620	2,037
退職給付に係る調整累計額	165	153
その他の包括利益累計額合計	5,358	4,427
新株予約権	23	16
非支配株主持分	1,570	1,686
純資産合計	47,845	48,510
負債純資産合計	85,245	84,850

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	60,932	59,762
売上原価	49,494	47,675
売上総利益	11,438	12,086
販売費及び一般管理費	8,854	9,412
営業利益	2,583	2,674
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	116	144
不動産賃貸料	90	91
為替差益	204	77
その他	183	282
営業外収益合計	619	619
営業外費用		
支払利息	197	183
持分法による投資損失	26	26
支払手数料	-	89
その他	40	71
営業外費用合計	264	371
経常利益	2,938	2,921
特別利益		
固定資産売却益	21	43
投資有価証券売却益	-	127
受取補償金	※ 445	-
特別利益合計	467	170
特別損失		
固定資産除売却損	18	18
特別損失合計	18	18
税金等調整前四半期純利益	3,387	3,073
法人税、住民税及び事業税	767	672
法人税等調整額	321	335
法人税等合計	1,088	1,008
四半期純利益	2,298	2,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	286	189
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,012	1,875



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,298	2,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	745	△334
為替換算調整勘定	62	△618
退職給付に係る調整額	△19	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△26
その他の包括利益合計	792	△991
四半期包括利益	3,091	1,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,758	951
非支配株主に係る四半期包括利益	332	121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

連結子会社である厦門荒川化学工業有限公司において、都市計画の変更にともなう事業拠点の移転要請により、補償金を受領しております。受領金額より移管費用や固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,419	36,186	9,106	60,711	220	60,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	72	—	72	19	91
計	15,419	36,258	9,106	60,784	240	61,024
セグメント利益又は損失(△)	848	1,488	△76	2,261	11	2,272

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,261
「その他」の区分の利益	11
全社費用の配賦差額(注)1	373
営業外損益(注)2	△62
四半期連結損益計算書の営業利益	2,583

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,977	34,515	10,032	59,525	236	59,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	68	—	68	17	86
計	14,977	34,583	10,032	59,593	254	59,848
セグメント利益	960	1,442	182	2,585	14	2,600

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,585
「その他」の区分の利益	14
全社費用の配賦差額(注) 1	216
営業外損益(注) 2	△142
四半期連結損益計算書の営業利益	2,674

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、山口精研工業株式会社の全ての株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において575百万円であります。